

産業建設 委員会



中茂委員・沼津委員・木本委員・橋本委員
谷澤委員・伊東副委員長・松葉委員長・今井委員

産業建設委員会は、平成29年度より、農政部、商工観光部、海外戦略部、基盤整備部、水道部を所管とし、新たな体制でのスタートを切りました。本年度は特に以下の項目について重点的に調査研究を進め議論を深めてまいります。

また必要に応じて記載以外の様々な課題に

も対処すべく、柔軟な体制をもって委員会運営にあたってまいります。

営農推進対策事業

米の生産調整（減反）廃止に伴う米価の下落対策としてブランド化の推進や、米・食味分析鑑定コンクールへの取り組み強化等。また学校給食における「まるごと飛騨の日」開催や、地場産品と食品関連事業者とのマッチング等について。

緑の保全事業

豪雪による倒木被害の復旧状況の調査とその進捗スケジュール等について。再造林の促進や、森林経営計画策定促進について等。

中心市街地活性化事業（関連施策も含め）

まちづくり会社との連携によるまちなかの賑わい創出や、総務省による「おためしサテライトオフィス」（企業誘致）の実施。国交省の「景観まちづくり刷新支援事業

業」と各施策との連携や、タウンマネージャーの配備について。また産業連関表の作成とその活用等。

観光施設事業

観光施設の利用促進と、老朽化に伴う計画的な維持修繕について。特に乗鞍高原飛騨高山スキー場をはじめとする、スキー場施設の管理運営とそのあり方について等。

除雪対策事業

迅速で効率的な除雪方法の検討と、それに伴う除雪計画の見直し。最優先除雪対象となる幹線道路の明確化や、受託範囲の再検証、排雪、融雪についても先進事例等を検証し研究にあたる。

景観保全奨励事業

国土交通省モデル地区採択の「景観まちづくり刷新支援事業」の実施（平成29年度～31年度。高山駅東口の景観修

景、東西歩行者軸の整備、宮川河川軸の整備ほか）についてや、高山市歴史的風致維持向上計画の策定について等。

併せて、水道GIS（管路情報等のデータベース化）、公共施設や路線バスや、観光バス等公共交通のあり方等についても研究を進め、特に記述の事業に関わる様々な専門分野の民間組織や団体との分野別意見交換会にも力を入れて、広く市民意見を集めてまいります。

委員会報告

5月と6月の委員会において、主に次の内容について報告がなされ、議論を深めました。

① 中心市街地活性化計画の変更について

主に景観まちづくり刷新支援事業の採択に伴う計画の変更がなされた。

② お試しサテライトオフィス開設

総務省により都市部のベンチャー企業等の誘

致戦略のモデル事業として採択され、委託事業として実施する。

③ 景観まちづくり刷新支援事業について

国土交通省によるモデル地区採択により、平成29年度～31年度にかけ約31億円の事業費。野外広告物修景・撤去等、駅前空間のリニューアルを進める。

また、5月委員会では、国道41号宮峠トンネルの工事状況や、石浦付近山林の倒木処理状況について現地を視察しました。



倒木処理の状況